

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1 北海道新幹線についてお伺いします</p> <p>(1) まず、並行在来線対策についてですが</p> <p>道南地域並行在来線対策協議会では、北海道新幹線開業に伴い、JR北海道から経営分離される江差線、木古内・五稜郭間の38キロの事業形態について、第三セクターによる鉄道運行とし、その負担割合を道8割、沿線自治体2割を基本に協議・検討を行っていることと承知していますが、この第三セクターの設立準備から開業までのスケジュールと道の役割を伺います。</p>	<p>(地域交通課長)</p> <p>第三セクターによる鉄道運行に向けた準備のスケジュールなどについてであります。江差線における地域交通の確保方策については、第三セクターによる鉄道運行を基本に協議を行っており、年度内を目途に今後の方針をとりまとめることとしている。</p> <p>今後、第三セクターの設立準備には、2年程度の期間が必要と考えており、平成26年度に設立し、27年度に予定されている新函館開業と同時に、鉄道運行を開始することとしている。</p> <p>第三セクターの設立などについては、沿線自治体と道で構成する協議会において協議を進めてまいりますが、その準備にあたっては、これまで、協議会の運営等に中心的な役割を担ってきた道が、引き続き、こうした役割を果たす必要があると考えており、新年度からは、地域交通課内に担当セクションを設置し、専門的なノウハウを有するJR北海道と連携しながら、鉄道運行に関する基本方針などを検討してまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>年度内目途に今後の方針をまとめ、新年度からは担当セクションを設置とJRとも連携して進めるとの回答ですが、大切なことは、沿線道民の足を将来に渡って守り、安心して暮らすことができることです。第三セクターの経営がすぐに行き詰まることの無いよう、持続可能な経営形態になるよう協議していただきたいと思います。</p> <p>次に、（２）新函館開業に向けた取組について伺います</p> <p>渡島・檜山管内においては、新函館開業を見据え、全国に向けて道南の魅力を発信するため、様々なプロモーション活動やイベントの開催を予定していると聞いているが、道が一体となって支援していくべきと考えますが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。</p>	<p>（新幹線・交通企画局長）</p> <p>新函館開業に向けた取り組みについてであります。新幹線の開業効果については、今月11日で全線開業から1年となる九州新幹線鹿児島ルート为例を見ると、JR九州の利用客は、博多・熊本間是对前年比で37%の増となり、また、熊本・鹿児島中央間では対前年比で65%の増加となったほか、シンクタンクの調査では、鹿児島県における県外からの宿泊客が、前年比で約20%増となっています。このような開業効果は、官民を挙げた地元の熱心な取り組みによるものとされており、平成27年度に予定されている北海道新幹線の新函館開業を控え、その開業効果を最大限に発揮させていくためには、広域観光や地域産業の振興などに向けた沿線地域における取組が大変重要と考えています。現在、沿線自治体においては、北斗市が市内各地の桜の名所を整備する「桜回廊事業」を進めているほか、木古内町をはじめ、渡島西部4町と檜山南部5町では、広域観光の取組を推進しているところです。また、道としては、渡島総合振興局と檜山振興局が協力し、今年度は、関係市町村と共に「新幹線時代に向けた『道南の魅力』新発見・再発見フェア」や「青函圏交流・連携フォーラム」を開催するなど、道南地域の魅力発信や開業に向けた気運の醸成に取り組んでおり、新年度においても、首都圏での観光PR事業などのほか、青森県と協力した新たな広域観光ルートづくりなどを進めることとしている。このほか道においては、新函館開業を契機とし、北海道と東北の連携をさらに強めていくことを目的とするシンポジウムや新幹線フォーラムを開催することとしており、今後とも、市町村と密接に連携しながら新幹線の開業効果を高めるための取組を加速的に進めてまいります。</p>

政策効果が出るまでは、一定期間かかるものが大半であり、開業時点あるいはその前後の短期間で実施をしても時すでに遅しとならないよう、お答えにあったとおり、是非、加速的に進めていただきたいと思います。

次に、**（3）開業効果の波及・拡大に向けた取組について**伺います。

北海道新幹線札幌延伸は首都圏をはじめ、東北、北関東との交流が拡大するなど、本道経済の振興や、道民生活の向上に大きな効果が見込まれていますが、新幹線の整備には巨額の投資をするわけであり、道は道財政が危機的状況の中でも、なぜ、新幹線が必要なのか、なぜ、道は強く要望してきたのかを丁寧に道民に説明し、道央、道南地域のみならず、道東、道北地域の方々に対して、新幹線開業効果を全道に波及させいてくための情報発信をしていく必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか、部長の決意をお聞かせください。

（総合政策部長）

札幌延伸による開業効果の道内各地域への波及についてありますが、新幹線の札幌延伸によって、本道経済の活性化や道民生活の向上といった様々な効果が見込まれるところであり、こうした札幌延伸効果を全道に波及させ、地域経済の活性化や地域のバランスある発展につなげていくことが重要と考えている。このためには、道内の航空路線や鉄道・バスのネットワーク、さらには高速道路網との結びつきを強めていくことが不可欠であり、道としては、札幌延伸を見据え、道内各地域間の移動が、道民の皆様にとって、また、ビジネスや観光を目的に来道される方々にとって、より一層円滑で利便性の高いものとなるよう国や市町村、交通関係事業者などと連携し、本道の総合的な交通ネットワークの充実に向けて着実に取り組んでまいります。また、委員ご指摘の情報発信も大変重要でありますので、道としては、新幹線の開業を契機とする人や文化の新たな交流をはじめ、広域観光や産業の方々にはわかりやすくお示しすることが必要と考えています。来年度においては、道内6つの連携地域におけるシンポジウムの開催などを通じて、気運の醸成をはかることとしており、今後とも様々な機会を通じて情報発信に努めるなど、札幌延伸効果の全道への波及に向け、鋭意取り組んでまいります。